

保証書

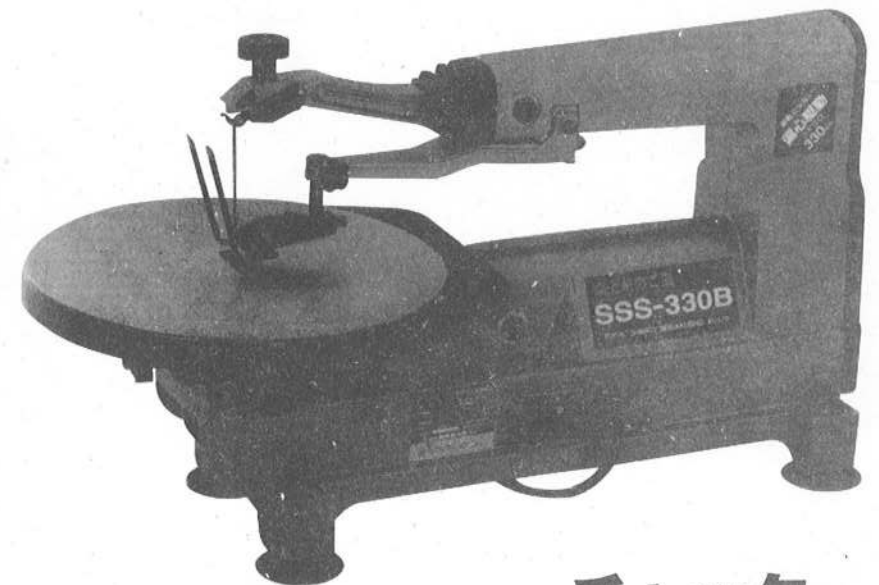
保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

| | | | | |
|-----|-------------------|-------|----------|------|
| 形名 | 卓上糸のこ SSS-330B | | お買い上げ日 | 保証期間 |
| | | | 平成 年 月 日 | 1 年 |
| お客様 | ご住所 | 〒 | | |
| | ご芳名 | | | |
| | 電話 | () | | |
| 販売店 | 住所名 | ☎ () | | |

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

卓上糸のこ機 SSS-330B 取扱説明書






チャック付


SHINKO 株式会社 新興製作所


〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600


このたびは卓上糸のこ機をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
お読みになったあとは必ず保存してください。


注意文の 警告 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

警告

1. 作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
 - ・作業中、本機に取りつける工具の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
 - ・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
 - ・ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
 - ・暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生することがあります。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
 - ・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、作業場の近くには置かないで下さい。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
 - ・作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
 - ・感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3. 電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- ・表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4. 取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業して下さい。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切って下さい。
- ・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、本機にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具が確実に付いているかをご確認下さい。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ・ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具を交換したときは3分以上試運転をして下さい。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させて下さい。
- ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で本機を改造したりしないで下さい。
- ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部（工具の作動部）には絶対に触れないで下さい。
- 本機の点検、掃除、工具（のこ刃等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。又、作業が終わりましたら必ず電源プラグを抜いて下さい。
- ・スイッチ、電源プラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出して下さい。
- ・異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないで下さい。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意して下さい。
- ・コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用下さい。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いて下さい。
- ・工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないで下さい。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工して下さい。
- ・加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないで下さい。
- ・不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないで下さい。
- ・能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用下さい。
- ・使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用下さい。
- ・切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をして下さい。
- ・修理、点検は販売店、又は当社にお申し付け下さい。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管して下さい。

【注】前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります

卓上糸のこ機使用上のご注意

先に一般工具の共通事項を述べましたが、さらに卓上糸のこ機を使用する上で、次の事項を守ってください。

警告

- 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因となります。
- 電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。スイッチが入っていると、突然運転してケガの原因となります。
- 本機にアース端子がついています。安全のため、ご使用前にアース端子にアース線を接続してください。
- 本機をご使用の際は、安全のため長ズボン、長袖シャツ、保護メガネを着用してください。又、切削粉塵を吸い込まないように、マスクの着用を心がけてください。
- ブレードをセットするとき、又は交換するときはスイッチを切り、電源プラグを抜いてから作業をしてください。不意に運転してケガの原因となります。
- 切断のときは、材料押で材料を押え、両手で軽く材料を押えながら送ってください。手はブレードに近づけないでください。ケガの原因となります。
- 材料を切断するときは、材料の送りは無理をしないでください。無理に材料を送りますと、ブレードの折損につながり、又、ケガの原因となります。
- 湿った場所、雨の中では絶対に使用しないでください。漏電の恐れがあり危険です。
- 使用中、本機の調子が悪くなったとき、異常が発生したときは、直ちにスイッチを切り、作業を中止してください。お買い上げの販売店または当社に点検、修理を依頼してください。そのまま使用しますと、事故の原因となります。

部品名称

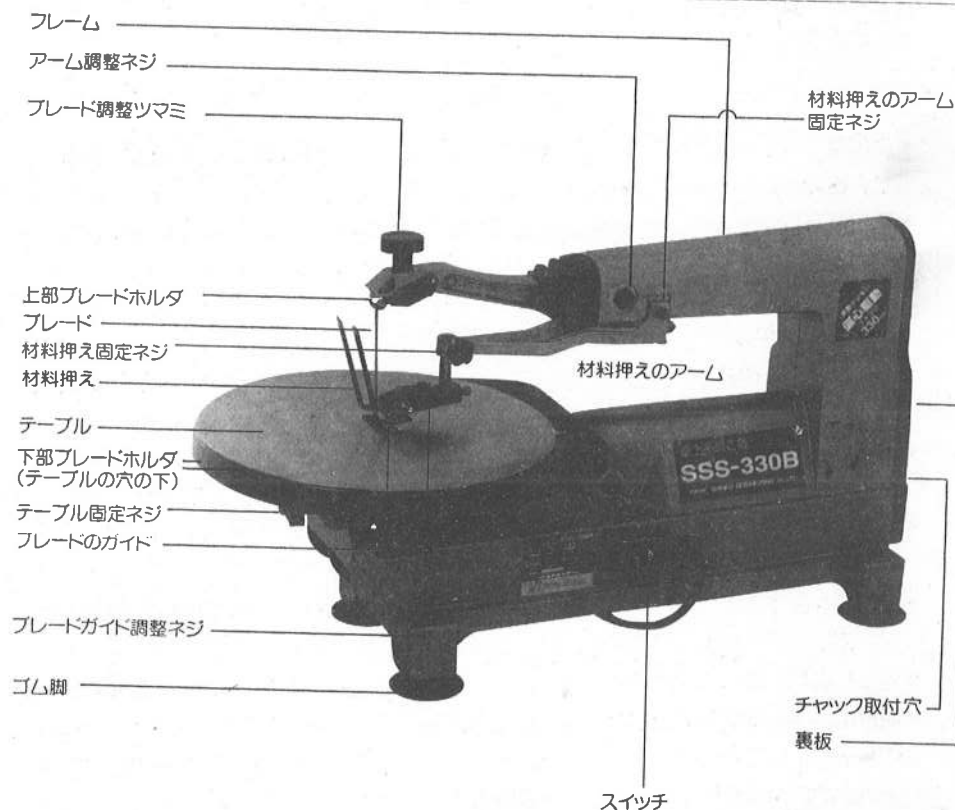


図1

本体と別になっている部品の明細

| 部品名 | 数量 | 用途 | 部品名 | 数量 | 用途 |
|----------------|----|------------------|-----------|----|------------|
| テーブル | 1 | | 六角レンチ2.5% | 1 | ブレードアダプター用 |
| テーブル固定ネジとワッシャー | 1 | テーブル固定 | 六角レンチ3.0% | 1 | ブレードガイド用 |
| ブレードアダプター | 2 | ピンをブレードの上下に付けて使用 | | | 材料押え用 |
| ブレード(細目) | 3 | | | | ブレードホルダー用 |
| ブレード(荒目) | 3 | | 六角レンチ4.0% | 1 | 材料押えのアーム用 |
| ゴム脚 | 4 | | ゴム脚固定ネジ | 4 | |
| チャック 10% | 1 | | チャック回し | 1 | |
| スバナ | 1 | チャック軸固定用 | | | |

ゴム脚の取付方法

- 付属のゴム脚を裏から差し込み、ゴム脚固定ネジで確実に固定してください。(図1参照)

仕様明細

| 型式 | SSS-330B | | |
|-----------|----------------|---------|-----------------|
| 電源 | 100V | ブレードの寸法 | 127mm(ピンからピンまで) |
| 周波数 | 50/60Hz | テーブルの寸法 | 275×245mm |
| 消費電力 | 110W | 切断能力 | 27mm(材料押しつけ付) |
| 電流 | 1.2/1.15A | | 50mm(材料押しつけなし) |
| ストローク数 | 1,100/1,250回/分 | 寸法 | 535×254×290mm |
| ストローク(上下) | 10mm | 重量 | 7.4kg |
| フトコロ寸法 | 330mm | | |

※本機は改良のため、予告なしに仕様を変更することがあります。

組立方法

■テーブルの組立

- テーブルの後部穴をフレームのピン(後)に差し込み、次に前部を差し込んでください。(図2参照)
- テーブルの角度を決めてからテーブル固定ネジにワッシャを入れて、確実に締めつけてください。(図3参照)
- テーブルの下についている目盛を0にしますと、テーブルは水平になります。左右の傾斜は45°まで調整可。

☑ 角度の目盛は目安としてご使用ください。
(角度切りするときは、一度不要材でテスト切りをしてご使用ください。)

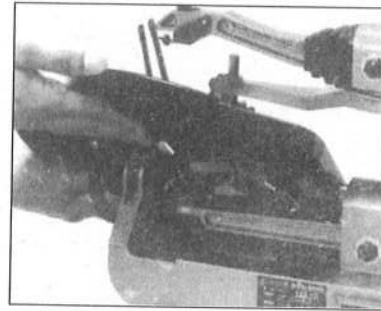


図2

■ピン付ブレードの取り付け、取りはずし

- ブレード調整ツマミをゆるめてください。
- ブレードの刃を下むきに、テーブルの中央の穴に差し込んでください。(図4、5参照)
- ブレードの下部のピンを下部ブレードホルダーの溝に入れ、次に上部のピンを上部ブレードホルダーの溝に入れてひっかけてください。
- ブレード調整ツマミを回して、適当な張力に調整してください。

☑ 無理に調整ツマミを回しますと本機の破損につながります。

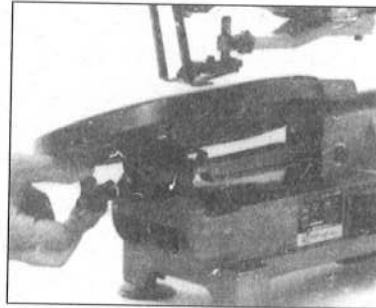


図3

■材料押えとブレードガイドの調整

- 材料をテーブルの上に置いて、材料押え固定ネジをゆるめ、材料押えで材料を軽く押えるようにして固定ネジで締めつけてください。

☑ 切断するとき材料がスムーズに動いて、浮き上がらないように調整してください。

- ブレードのセットが終了したら、付属の六角レンチでブレードガイド調整ネジをゆるめて、ブレードのガイドの溝をブレードの後に軽くあて調整ネジを締めつけてください。溝に正確に入っていないと、使用時にブレードがかたむき、まっすぐに切断できません。又、異音が発生します。

☑ 材料押えのアームが曲がっているときや、上下のブレードホルダーの取付が曲がっているとき、ブレードが正面から見てまっすぐにセットされていないときなどは、まっすぐな切断ができませんので、調整してからご使用ください。

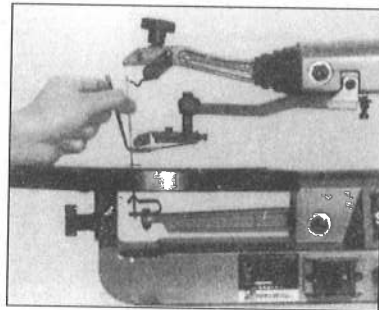


図4

■ピンなしブレードの取付、取りはずし

(市販品)

- ブレード用アダプターが部品袋の中に入っています。
- アダプターの左右についているネジを六角レンチ(2.5mm)でゆるめ、ブレードを差し込んで確実に締めつけてください。(図7参照)
- ブレードホルダーの取付方法はピン付と同じように引掛けてください。(図6参照)

■減速のベルトについてお願い

- モーターが回転しているのに、ブレードが上下しないときは、ベルトがはずれているか、又はベルトの破損です。このようなときは、後面のカバーを取りはずし、ベルトをご確認ください。ベルトがはずれているときは、プーリーにベルトをかけてください。万一破損のときは販売店、又は当社にご連絡ください。

加工方法

■基本的な切削方法

- コンセントを差し込むときは、スイッチが切れていることを確認してください。
- ブレードの取付け、取りはずし、材料をセットするときは、安全のため必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
- 材料を両手で押え、ブレードにつけて軽く送るようにしてください。
- 能力をこえて、無理に押しつけたり、材料をねじったりすると、ブレードが折損してケガの原因となります。
- 切断するとき、材料がうきあがりますので、必ず両手で押えてください。手は絶対にブレードに近づけないでください。又、材料押えを取り除いて厚い材料を切断するときは、材料を確実に押えてください。
- 材料押えがついているときは約27mmまで切断可。材料押えを取りはずしますと、約50mmまで切断可。

ピン付ブレードのセット

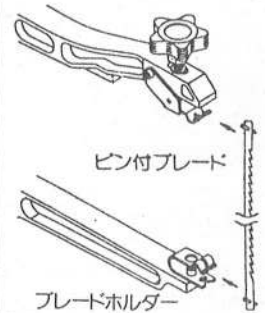


図5

ピンなしブレードのセット

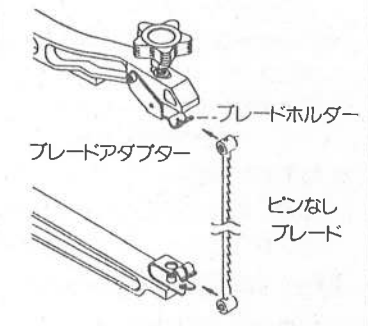


図6

ピンなしブレードの組立



図7

④細目のブレードで切断するとき、ブレードの張力が弱いと予定した切断の線からずれることがあります。このようなときは、ブレード調整ツマミを回して、張力を少し強くしてください。

⑤切断中、予定した線からずれたときは、材料を少し手前にもどして、ずれた方向(横)に材料を少し押しつけながら切断しますと修正ができます。

⑥円形に切断するとき、厚目の材料を切断するとき、無理に押さずに、ゆっくり切断しますと、きれいに切断できます。

■切り抜き加工方法

- 切削物の中にドリルで穴あけをしてください。穴径は、ブレードが容易に入るように取ってください。
- 切削材をテーブルの上に置き、材料の穴とテーブルの中央の穴とを合わせてください。
- ブレードは切削材の穴と、テーブルの溝に挿入して、ブレードホルダーに取り付けてください。
- 内部カーブ形状を切削した後、スイッチを切ってブレードを取り外してから、切削物をテーブルから取ってください。

チャックの取り付けと作業について

- 本機に付属品としてチャック(10mm)がついています。(図8参照)
- 本機の後面板にゴムブッシュがついています。ゴムブッシュを取りはずしますと、チャック取付穴がついています。(図9参照)
- チャックの接続ネジを本機のチャック取付穴にねじ込んでください。
- 締めつけるときは、付属のスパナを本機の裏面から差し込み、回転軸を固定してからチャック軸固定穴に六角レンチを差し込んで締めつけてください。
- チャックの締め付け、ゆるめは付属のチャック回しをご使用ください。
- チャックにフレキシブルシャフト(市販品)を接続しますと、色々な先端工具を取り付けて、作業ができます。

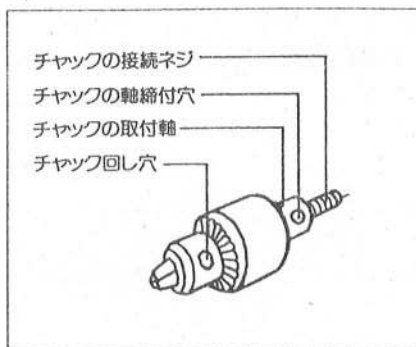


図8

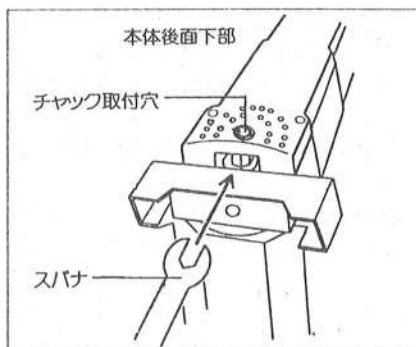


図9

切りくずの処理、保守について

- 保守点検のときは、スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
 - ブレードホルダーの周囲についている切りくずを取り除いてください。
 - ブレードの交換の前に、ブレードホルダーについている切りくずを取り除きますと、楽にセットできます。
 - 作業が終了しましたら、湿気の少ない、お子様の手の届かないところに保管してください。
- ※本機についてのお問い合わせや、修理等につきましては、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。